

鹿屋市立輝北小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒に作り、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成を目指します。

2 本校の教育目標

確かな学力と豊かな感性をもつ、個性きらめく子供を育成する。

3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

(1) 1・2 年生の取組

- ・ J T E, A L T との交流授業
- ・ C C E の日常的取組

(2) 3・4 年生の取組

- ・ J T E, A L T との交流授業
- ・ C C E の日常的取組

(3) 5・6 年生の取組

- ・ J T E, A L T との交流授業
- ・ C C E の日常的取組

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

- ・ 輝北中英語担当教師による英語授業（6 年生対象）
- ・ 英語指導についての情報交換

(5) 校内研修体制について

- ・ 授業を通じた実践
- ・ 研修会への参加
- ・ 教材の整備，データの共有

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
楽しい	100%	100%	87.5%	50%	90%	40%
どちらかというと楽しい	%	%	12.5%	37.5%	10%	24%
あまり楽しくない	%	%	%	6.25%	%	32%
楽しくない	%	%	%	6.25%	%	4%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
25%	50%	25%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ コミュニケーションの素地づくりが早い段階からできる。（特に耳）
- ・ 外国への興味関心が高まる。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
66.7%	27.8%	5.5%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語への慣れが早い段階からできる。
- ・ 世界が広がる。（海外への興味関心等）

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
78.6%	21.4%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 日常生活における英語への興味関心が持てる。
- ・ 英語への抵抗が少なくなると感じる。

5 令和4年度の実施状況について

(1) 1・2年生の実施状況

- ・ J T E，A L Tとの交流授業
- ・ C C Eの日常的取組

- (2) 3・4年生の取組
 - ・ J T E, A L T との交流授業
 - ・ C C E の日常的取組
- (3) 5・6年生の取組
 - ・ J T E, A L T との交流授業
 - ・ C C E の日常的取組, Small talk の充実
 - ・ My Book の活用
 - ・ スピーキングクエストや I C T の活用
- (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について
 - ・ 中学校（輝北中）との連携を図り，中学校英語教師による英語授業の実施（6年生対象）
 - ・ Z o o m 等を用いて，他校の児童とのスキット交流（J T E の協力のもと）
- (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について
 - ・ やりとりを意識した会話の在り方の習得
 - ・ 正しい発音，工夫のあるジェスチャーを意識した会話法の習得（J T E, A L T の指導助言のもと）
- (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて
 - ・ 子供会との連携をもとに積極的参加を促す。
 - ・ 保護者への理解・協力を促す。
- (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について
 - ・ 年間活動計画，行事計画への具体的な位置づけ。
 - ・ 事前，事後を含めた交流の在り方。（手紙のやり取り等）
- (8) スピーキングクエストの実施について
 - ・ ヒアリング力の育成を図る上で有効的な活用の在り方の研究
 - ・ 年間指導計画への位置づけ
- (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について
 - ・ 研修計画への位置づけ
 - ・ 先進校の取組の紹介，視察等